

【問題1】

5 花子さんは、明治政府の諸改革について調べ、分かったことを下の表にまとめた。これを見て、あとの問いに答えなさい。

[表]

	教育制度	兵制	税制
政策の内容	(A) の公布 6歳以上の男女は、身分に関係なく教育を受けさせる。	(B) の発布 満20歳以上の男子に兵役の義務を課す。	地租改正の実施 地租の税率を全国で統一し、現金で納めさせる。
政策の結果	最初少なかったが、明治時代終わりには、ほとんどの子供が小学校に通い始めた。	欧米の軍隊のように、陸軍と海軍を置き、士族の反乱の平定にもあたった。	(C)

(1) 教育制度と兵制について、(A)、(B) にあてはまる言葉を、次のア～エからそれぞれ1つずつ選びなさい。

- (A) ア 学制 イ 共和制(政) ウ 幕藩体制 エ 立憲君主制(政)
 (B) ア 解放令 イ 徴兵令 ウ 徳政令 エ 律令

(2) 地租改正の結果として、表の(C)に入るものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 百姓一人一人に等しく土地が与えられたので、明治政府の税収は増加した。
 イ 地租を納めない者や土地を手放す者が増加したため、明治政府の税収は減少した。
 ウ 地租を納めさせることで、一定の収入を確保することができたので、明治政府の税収は安定した。
 エ 名主の力が強まり、収入を独占する者が現れたため、明治政府の税収は不安定になった。

(3) 花子さんは、次の資料1と資料2から読み取ったことをもとに、地租改正についてノートにまとめた。【花子さんのノート】の、(D)、(E) にあてはまる数と言葉を書きなさい。

[資料1] 地租改正前後のおもな一揆

年	おもな一揆と発生地	
1870年(明治3年)	租税減免要求	大分県
1874年(明治7年)	租税返還要求	山形県
1876年(明治9年)	地租改正反対	茨城県

この百分の二ケ半(2.5%)	明治十年より	この百分の三(3%)	地価
金七十三銭二厘	金八十七銭八厘		二十九円二十七銭一厘
地租	地租		

【花子さんのノート】

資料1からは、明治9年までに、税の負担に関する一揆が起こっていることがわかる。
 資料2からは、明治10年に税率が3%から(D)%になったことがわかる。
 資料1と資料2から、明治政府は(E)のために、地租改正に関する政策を変えたと考えられる。

(4) 明治政府の諸改革は、その後の日本にとって大きな意義のあるものであった。右の年表をもとに、明治政府の諸改革の意義を、当時のヨーロッパ諸国のようすを踏まえて、「近代化」という語句を使って書きなさい。

[年表]

年 (世紀)	東南アジアのおもなできごと
(18世紀後半～)	イギリスで産業革命が始まる
1858年	イギリスがインドの直接支配を始める
1871年	日清修好条規を結ぶ (清と対等な内容)
1874年	フランスがベトナムを侵略
1875年	樺太・千島交換条約
1876年	日朝修好条規 (朝鮮にとって不平等な内容)

〈解答〉

【問題1】

設問番号		正 答 例	準 正 答 例	留 意 事 項	
⑤ ⑥	(1)	A	ア		
		B	イ		
	(2)	ウ			
	(3)	D	2.5 (%)		
		E	・ 農民の負担を減らす ・ 一揆をおさめる		同意であれば可。
(4)	ヨーロッパ諸国がアジアに進出していることに危機感を持った明治政府が、国の近代化を目指したことで、ヨーロッパ諸国に対抗する力を持つことができた。(アジアで強い影響力を持つことができた。)	明治政府が近代化を目指したことで、ヨーロッパ諸国に対抗する力を持つことができた。(アジアで強い影響力を持つことができた。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同意であれば可。 ・ 次の2点を書いているものを正答とする。 ①ヨーロッパ諸国がアジアの国々に進出したこと。 ②明治政府が国の近代化を目指し、ヨーロッパ諸国に対抗することができたこと。		